

女川町復興まちづくり住民説明会 最終報告〔町全体〕 1/9

会場	開催日	参加者	主な質問	町側の回答
塚浜	1/13(金)	25名	①被災土地の単価は公表されないのか。 ②民宿も移転可能か。また200~300坪の土地購入可能か。 ③災害公営住宅が将来空き家になってしまった場合はどうなるのか。	①不動産鑑定評価の準備に入っている。今後単価をお知らせする。 ②民宿も移転可能。制度上平均100坪のため、住民相互の調整、合意が必要。 ③地区による管理なども考えられるが、その都度地区と相談させていただく。
旭が丘	1/13(金)	34名	①公営住宅の戸数は ②仮設住宅の入居期間の延長はあるか ③自分の土地に住居を建てることはできないのか。 ④高台の居住地と同時に公共交通の整備方針も出すべき。 ⑤今後、山と海どちらに発展させていくのか。	①700戸前後を想定。意向調査により希望人数を精査し最終決定する。 ②仮設は延長可能。仮設の借り上げも含め、検討する。 ③基本は高台移転。補助があり生活再建の手助けになる。個別意見は受け止める。 ④高齢者にやさしい町づくりをしていく。 ⑤産業用地は海に発展させ、住居は高台移転を進めて行く。
出島・寺間	1/14(土)	出島41名 寺間38名	①高台へ移転しない人の被災土地は買い上げできないのか。 ②寺間の被災地を嵩上げし、災害公営住宅を建設できないか。 ③津波の浸水していないところはどうか。	①買い上げできない。 ②被災地の嵩上げは、今回と同程度の津波で被災する危険がある。 ③基本的にそのまま住むことができるが、個別に相談してもらいたい。
内田	1/15(日)	23名	①高台住宅地の世帯数は。 ②町内の移住は可能か。 ③町外への移転者への補助はあるのか。 ④換地した場合、現在と同規模の用地が確保できるか。	①浸水エリアを対象とし、1800世帯と想定。 ②基本的に町内であれば融通がきく。ただし、将来の移転先のコミュニティーの維持も重視している。 ③被災者生活再建支援金(全壊200万円、半壊100万円の助成)がある。また、罹災証明があれば低利な復興融資受けられる。 ④土地の価値が等価になるように移動する。
第一小学校	1/15(日)	45名	①修理すると使える作業場があり、復興事業に邪魔にならない期間を利用できるか。 ②どの辺まで盛土されるのか。 ③陸上競技場以外の公営住宅はどの辺に作る予定か。	①作業場については、その時期が来たら撤去する仮設建築物という前提で、具体的には個別に相談を受ける ②図面で示したものは概算である。今後、詳細な測量・設計により決定する。 ③想定はしているが、意向調査結果により、具体的な戸数に絞り込む。離半島を含め700世帯前後の数は揃える。
竹浦	1/16(月)	46名	①高台の土地は、借地・購入のどちらか。 ②準備の整った地区から、検討を円滑に進めてもらいたい。 ③高齢者を抱える世帯は支払負担が大きい、支援をお願いしたい	①借地、購入いずれも対応できる。 ②了解。そのためにも地区住民の合意形成をお願いしたい。 ③町をはじめ、関係機関と協力しながら再建を支援したい。

女川町復興まちづくり住民説明会 最終報告〔町全体〕 2/9

会場	開催日	参加者	主な質問	町側の回答
桐ヶ崎	1/16 (月)	19名	①被災宅地買上げで住民に現金が入るか ②名義変更していない土地や抵当権設置された土地は町が買い取りできるか。 ③災害公営住宅を親子2世帯で借りることはできるか。	①土地の売却費用は皆さんの手元に入る ②買い取りができない場合の対処方法を検討していく。 ③2戸借りることや間取り変更も可能。世帯分離する方法もある。
尾浦	1/16 (月)	29名	①今後の転入者のために造成宅地規模は余裕をもって確保できるか。 ②災害公営住宅は払い下げができると聞いた。 ③高齢者が希望するだけの災害公営住宅の建設をお願いしたい。	①余裕をもった造成は制度上困難。 ②入居5年経過したらできるが、払い下げを前提で建設することはできない。 ③離半島部全体で150戸を想定しているが、管理等で町の負担が増えるので、可能な限り自力再建をお願いしたい。
高白浜	1/17 (火)	15名	①住宅団地は100坪でなく50坪でもよいのか。 ②災害公営住宅で高齢の入居者が亡くなった場合はどうなるか。 ③高齢者はお金を借りられないのではないか。	①制度上平均100坪を限度とするもので、100坪以下でも問題ない。 ②新たな入居者を募集する。空き家になった場合の管理が課題である。 ③80歳までに完済するローンやリレーローン等の支援策がある。困難な場合は災害公営住宅の入居が考えられる。
指ヶ浜	1/17 (火)	17名	①候補地案の造成には時間がかかるのか。 ②災害公営住宅に入居し、自己再建を前提に100坪の土地を確保できないか。 ③住宅団地の土地は無料で借りられるか。	①法的手続等が増えると時間がかかるが、工期短縮方法を検討する。 ②払い下げが前提で公営住宅の建設はできない。 ③固定資産税相当程度の額で借りられる
御前浜	1/17 (火)	38名	①アンケート等で、どの程度の高台土地が必要か精査してほしい。 ②災害公営に障がい者優先入居制度は ③地区から離れている高齢者が戻ってきて、災害公営住宅に入れるか。	①アンケートにより、皆さんの希望を聞いて検討する。 ②障がい者の入居は当然配慮する。 ③入居は可能。年金暮らしの方等に配慮した家賃設定となる。
清水	1/18 (水)	20名	①高台の盛土造成地の安全性は、町で責任をとれるのか。 ②家を直していいか役場に聞いているが、待つように言われている。いつまで待てばいいのか。 ③この計画に対して疑問がある場合には、今議論をしないとだめだということなのか	①宮城県沖地震以降、耐震基準も改定されている。施工実績、専門的知見に基づいて業者を選定する。 ②4月に本計画について国の認可を受け、詳細設計を詰めていく。もう少ししばらく待つてほしい。 ③スピードが最優先であり、同時に、後に悔いを残さない町づくりをしなければならない。一生懸命考えて皆さんからの知恵も借りても計画の変更は出てくると思う。そういう中で解決したいと思う。
蟹田	1/19 (木)	7名	①女川浜、大原は商業地になるのか。 ②今まで以上に夢のある楽しい緑の多い町づくりを切に願っている。 ③公営住宅の入居について、仮設のように抽選になるのか。	①複合施設的な整備を考えている。基本的には住居ではない地区。建築制限、利用制限を検討している。 ②店舗型の住宅ではないので、様々な人が入ってこられる空間、建物、活動の仕方などを考えていきたい。 ③意向調査の段階で、各希望を調査する。公正性という面からは、公開抽選的な形にならざるを得ないと思う。

女川町復興まちづくり住民説明会 最終報告〔町全体〕 3/9

会場	開催日	参加者	主な質問	町側の回答
魚市場会議室	1/20 (金)	52名	①海岸の方の商業地帯、工業地帯ではいつ頃から建物の許可がもらえるのか。 ②JRはどうなるのか。	①本格的にということでは、防災集団移転と絡めてということになる。皆さんとは早めの協議の機会を持って行きたい。なるべく早く商売をしていける環境を整えるよう努力している。 ②JR はちゃんと来てもらえます。水につかって地盤沈下しているところがあるので、海岸際を県で直して、JR で線路を上げる。ここまで来るのが 2 年ちょっとかかるかなと言われている。
大石原浜	1/24 (火)	5名	①被災地はそのまま埋めるのか。 ②8世帯のうち5世帯が移転しなければ、防集事業が適用できないのか。 ③高齢なので、とりあえず借地でも可能か。	①要望があれば沈下した分を盛土する。 ②基本的にはそのとおり。他地区からの転居も含めて5世帯となれば可能。 ③借地でも可能。
飯子浜	1/24 (火)	30名	①被災地の買い上げ後、その土地は利用できないのか。 ②当初災害公営住宅に入居し、後に 100坪の土地を購入することはできるか。	①賃貸する形になるが、どのような利用がしたいかを事前に検討してほしい。 ②防集事業では余裕をもった造成はできない。
横浦	1/24 (火)	19名	①被災地の宅地だけを買い上げた場合、虫食い状態で民地が残り、土地利用上の問題とならないか。 ②移転全戸分、災害公営住宅への入居を希望している。敷地は 100坪の区画割りをしてもらうことはできないか。 ③高台移転はアクセス道路の延長が長くなるなど利便性の不安がある。	①現時点では、町で買い取りできるのは宅地に限り、全ての被災土地を買えると約束できない。今後調整する。 ②離半島部の災害公営住宅は戸建てを基本とするが、宅地面積 100坪は困難。他地区と不公平感のないようにする。 ③利便性や安全性、経済性などを考慮して検討していく。
野々浜	1/24 (火)	14名	①被災地の土地が抵当権の設定や名義変更がされていない状況で、町がスムーズに買い上げてくれるのか。 ②災害危険区域には田や畑があるのに全部盛土にすると、固定資産税が取られて負担になる。 ③住宅団地は、安全性を考慮して、切土造成地としてほしい。	①土地権利の状況を調査中である。状況把握したうえで、課題を整理し、解決策を検討していく。 ②被災土地は来年度も税金がかからない。その間に土地の使い方を決めなければならない。 ③切土可能で用地取得しやすい場所がどこかを地区のみなさんから助言していただきたい。

女川町復興まちづくり住民説明会 最終報告〔町全体〕 4/9

会場	開催日	参加者	主な質問	町側の回答
総体柔道場	1/25 (水)	44名	①買上げ時期と価格(東松島事例)、全部買上げるのか ②土地収用法を適用するのか？ ③浸水区域以外の対応は(市街化調整区域の見直し) ④浸水区域外の盛土するのか、盛土の安定期間 ⑤JR女川駅の位置は？	①鑑定評価し生活再建できる防集と区画整理で対応。 ②皆さんとの理解に最大限努力と合意を基本としたい。 ③針浜等対象ですが、特区制度採用など検討したい。 ④仙台の被災を参考、施工実績ある業者に委託する。 ⑤以前延伸を検討したがJRの採算性やデマンド運営等課題が多いので、ほぼ現在の位置を予定
バイパス仮設(東)	1/26 (木)	42名	①土地の賃借料はどのくらいですか ②買収の時期は？協議の時期は？ ③A'に住みたくない場合は？	①生活再建が重要で、町で一定の支援したい、検討。 ②県の公示価格を参考に鑑定する。5箇所以上で将来の町の価値を考慮評価、協議時期も早くしたい ③ダメではないが全体で調整し、条件や意向を基に対応する
小乗浜	1/27 (金)	45名	①高台移転を協議。計画箇所は沢水多い。 ②コバルトラインへの避難道路や原発避難道路などは。 ③小乗の工事の順番は？26年度後半までは確実か。 ④商売で民宿業だが、できるのか	①各区の取り組みを考慮して計画する ②県と協議して道路計画を決めたい ③堀切高台が三期目で、小乗はその前、完成は用地買収状況等による。 ④高台居住地は100坪。従来地は住居以外は商売ケース毎に利用を相談する
針浜集会所	1/28 (土)	35名	①浦宿付近の国道の嵩上げや浜の対策は ②木造建築は壊れてない ③町内外への広報を確実にしてほしい ④高台以外の土地利用はどうか	①冠水対策は県と一緒に対策を検討 ②昔の耐震工法の効果も考慮 ③町民への情報提供はしっかり行う ④調整区域は実態に即し一件一件対応
バイパス仮設西集会所	1/28 (土)	52名	①規制地域外だが許可がいるのか ②どうしてもそこに住みたい場合は ③地震後の町の対応の議事録はあるのか ④陸上競技場に住宅、取り壊しは疑問だ ⑤利息補助は町内の宅地購入の場合か	①工事前建物以外は確認申請が必要 ②法により理解と協力を得て進める ③防災担当メモがあり経緯は確認可能 ④被災度が一番大きい、多大な修理費用、早期の復興住宅で活用したい ⑤基本はその通り

女川町復興まちづくり住民説明会 最終報告〔町全体〕5/9

会場	開催日	参加者	主な質問	町側の回答
総体柔道場	1/28 (土)	44名	①黄色いエリア（A <sup>〓</sup> ）に居住するのか。 ②災害復興住宅には何人住むのか。 ③居住地は以前の場所近くにしてほしい ④高台地権者とスムーズに出来ない時は。	①どこに住むかは今後の意向調査による ②意向調査で最低でも 650～700 戸 公費負担基準で造る事を理解願いたい ③地域性に配慮する ④理解と協力が大前提で事業を進めたい
清水仮設集会所	1/29 (日)	26名	①代替地は広い面積が可能か ②町外の息子に土地購入は可能か ③女川浜のお墓は残せるのか ④石浜の居住地は 70%以上が高台希望だ 今の居住地は嵩上げなので ⑤津波警報に対する備えは ⑥年配者への配慮は、夜や降雪時は ⑦復興住宅の高齢者対策、障害者対策は ⑧離半島部の災害公営住宅は戸立てか、中心部は集合住宅が基本か	①100 坪以内であれば可能 ②不可能、早い住宅再建が今回の制度 ③工夫して今後詰めていく ④地区ごとにまとまったのであればその範囲で計画する ⑤海に向わない事が大原則だ ⑥数日間の自力で備えられる拠点整備を配置する ⑦町内の集合住宅は 4～5 階の M タイプで E V 設置、バリアフリータイプ ⑧離半島部は漁業集落であり小さめの戸立て住宅、中心部は集合で検討
野球場仮設集会所	1/29 (日)	33名	①商店の復活を急いで、働く場所を早急に ②若手流出防止にも安い入居住宅を ③清水 1、2、3 区清水橋まで住宅不可か ④住宅でなく加工場ならいいのか ⑤行政区でまとまって集合住宅に住めないか	①仮設商店街は商工会が 3 月下旬迄、町は基盤整備を支援、先行復興エリアで市場裏を急ぎ 8、9 月には半分程度復興 ②低廉な災害公営住宅を計画、陸上競技場に 4 割の 200 戸、2 年以内 6 割供給 ③安全性から高台移転を基本、今後変更する場合の安全性などその時に皆さんと議論する ④水産関係からは利便性を考慮して市場付近の基盤整備を検討している ⑤大きい土地にまとまった数の配置となると公営住宅の性格から、ここの地区のみとはならない。優先順位など今後検討していく
旭が丘集会所	1/29 (日)	30名	①海から女川高校の中間に住んでいるがどこまでが警戒区域か ②土地の買上価格を示さないと居住地を決められない。二束三文は困る ③名義変更等土地買取手続きの費用など	①災害危険区域の設定はこれから詰める 国道嵩上げラインから堀切山腹の中間 ②土地鑑定等客観的評価で行う。 ③名義変更等手伝い等の支援は行う

女川町復興まちづくり住民説明会 最終報告〔町全体〕6/9

会場	開催日	参加者	主な質問	町側の回答
野球場仮設集会所	2/2 (木)	27名	①原発の避難所を何箇所か設置希望。 ②バスの便を増やしてほしい。100円バス等を走らせることはできないか。 ③工場がマリンパルの後ろにあった。土地を売らないで、そこに再建していいか。	①専門的な知見を借り、県等と連携して、話し合いをやっていきたい ②25年度までは臨時のバスの運行は、国が面倒見てくれることになっている。そこから先については、増便、時間帯等の検討などをしていく。 ③防災集団移転では住宅地の買い上げということになり、工場は基本的に別になる。しかし、区画整理を行うのでこれまでの土地からは動いてもらう。工場関係については工業エリアでの再開になるかと思われる。具体的検討はこれからになる。
清水仮設集会所	2/3 (金)	25名	①今回の地震で土地自体が動いている。住宅を再建するための調査等は自分でしなければならないのか。 ②国から金利の部分に対し助成があるという話だが、何年という期間があるのか。また、町営住宅に住んで、5年後に家を建てたいとなった時、適用になるのか。	①厳しいかもしれないが、自分でということも今後出てくることもある。最終的には個別の対応になるが、まず制度全体でどこまで手伝えるか検討する。 ②2年であるが、5年に延長になる。一回目の入居までが適用で、現規定は、災害公営住宅に入居後に、利息補給の適用を受けることはできない。
清水仮設集会所	2/4 (土)	28名	①観光に携わる者としては、せつかくインフラを整備するのであれば、100年先人口が減少しないようにすべき。景観に配慮して電線を共同溝にするなど。 ②今、防災無線が聞こえない。情報伝達手段の整備が必要 ③女川町の人口が減ると、購買額が減ってしまう。いろいろな交流人口を増やす努力が必要である。	①景観、震災リスク、技術面等考慮してやっていく必要があると思う。 ②各戸の受信機と、聞こえない部分は改良する。 ③観光が大きな力。将来的には経済の活力を集中。人が常に集う場になりビジネスチャンスが絶対出る。東北大と連携いろいろなアイデアも出る。今地域でお金が回るシステムについては、宿泊関係の整備で地域にお金が回り、雇用も生みだせる。早期に進めたい。
小屋取集会场	2/4 (土)	15名	①津波による被災状況が他地区と異なり現位置に残る住民もいる。集落の分散は避けたいので、このまま再建することは可能か。 ②高台移転とした場合、下の土地を嵩上げしないのか。階段状の造成など。 ③嵩上げ案だと災害公営住宅は可能か。 ④暮らしていくには住宅だけでなく漁業の再建が不可欠。	①現位置の場合、今次津波と同程度の津波の場合、浸水することになる。複数の制度があるので、地区住民の望む方向で検討したい。 ②土が出るので要望があれば嵩上げは可能である。 ③制度上の検討課題である。 ④どのような再建が望まれるのか地区主体で考えていただきたい。

女川町復興まちづくり住民説明会 最終報告〔町全体〕 7/9

会場	開催日	参加者	主な質問	町側の回答
清水仮設集会所	2/4 (土)	13名	<p>①原子力センター付近の狭いところに堤防(ダム)を造って津波を防げないのか。</p> <p>②国立の町を見た。広い歩道と自転車レーンがあり、このように整備することを提案したい。</p> <p>③仮設住宅に風除室を付けることはできないのか。冬は凍結したりしてドアが開かない不便があるし、地震が来たときに逃げられるか不安。</p>	<p>①道路に防潮堤の役割を持たせようと考えている。防潮堤を造ると、超えた時水が抜けなくなる。</p> <p>②そういう整備が望ましいと思う。</p> <p>③仮設住宅は県施設で、町が勝手に手をつけることはできない。問題については早く対応していけるようにいろいろなところに働きかけをしていく。</p>
総体柔道場	2/4 (土)	28名	<p>①女川港は、被災前と同じということか。</p> <p>②できるだけ、A<sup>1</sup>エリアでも、浸水しない高さにするようにしてもらいたい。</p> <p>③清水にある瓦礫の処分時期はいつになるのか。</p>	<p>①県との協議がどこまでできるかということがある。港湾としてより使いやすい形はどうか。トラックの関係などもこれから整備していかなければならない。余った土が出るとするならば使えるかどうかなど検討していきたい。</p> <p>②標高とかの関係があって、取り付け道路をつけられるかという心配もあるし、地権者の関係もある。地区でまとまった要望に対しては対応する。協議の場にも積極的に応ずる。</p> <p>③これから2年半でやっていきたい。</p>
石巻合庁会議室	2/10 (金)	51名	<p>①女川町から、別なところに引っ越して、災害公営住宅に入れるのか。</p> <p>②公営住宅はアパート形式になるのか。エレベーターはつけるのか。老人を抱えていると階段だけでは暮らせない。</p>	<p>①女川町以外の災害公営住宅に入れる。しかし、その自治体で優先順位を決めるということはある。その判断は自治体が行う。</p> <p>②エレベーターは付けるようになると思う。高齢者に配慮した、バリアフリーの基準で造っていくようになる</p>
大崎合庁会議室	2/11 (土)	29名	<p>①北浦から町内への移転は可能か。石巻への移転ではどうか。</p> <p>②多目的エリアについてどのような利用を考えているのか。</p> <p>③女川町の未来像がわかった。被災地のモデルになるように進めてほしい。</p>	<p>①防災集団移転の対象は基本的に町内であれば対象になるが、町外では対象にならず利息の支援も受けられない。町外への移転の場合、区画整理等の対象ということで買い取らせてもらう場合もあるが、そうでない場合もある。</p> <p>②具体的なものはこれから。スポーツ施設、企業誘致、等が考えられる。ほかにいろいろなアイデアももらっている。運用の仕方についてのアイデアはこれからもいただきたい。</p> <p>③被災地の中でのモデルということもあるが、東北の課題を解決できるまちづくりを目指す。現在と、先々の両方を見据えて積み上げていきたい。いろいろな状況はあると思うが、女川に住んだ方がいいというふうな町にはできると思う。協力を心から願います。</p>

女川町復興まちづくり住民説明会 最終報告〔町全体〕 8/9

会場	開催日	参加者	主な質問	町側の回答
仙台東北電力グリーンプラザ	2/11 (土)	61名	<p>①女川に帰りたいと思っていたが、年寄りには待てないので帰れないと思った。災害公営住宅はいつ入れるのか。</p> <p>②これまで、大雨の時は小河川からの氾濫が起きた。排水計画をしっかりとしてほしい。</p> <p>③仮設の入居待ちが40人いると聞いた。仮設住宅の増設はできないのか。</p>	<p>①まずは200世帯を陸上競技場に建設予定。そこから1年以内に100世帯分というように順次提供していく。家賃については、最初の5年間は国の補助をもらって安くできる制度が使える。時期については、急いで提供できるように努力する。</p> <p>②盛土していくところ、護岸を整備するところ、恒常的に強制排水するところと3種類になると思う。これまでの課題も解決できるようやっていくところだと思っている。</p> <p>③追加での仮設住宅は国も県も止めている。粘り強くお願いしていく。同時に、空部屋の情報提供は行っていく。</p>
総体柔道場	2/16 (木)	33名	<p>①A〳エリアでの再建や高台移転は可能か。</p> <p>②旧国道398号はどのような形になるのか。</p> <p>③上全区の建築制限区域の範囲は。また、その区域に建築は可能か。</p> <p>④仮設の集約はあるか。また、みなし仮設からの仮設への移動は可能か。</p>	<p>①高台移転は可能。現地再建は防集対象外となる。</p> <p>②旧国道398号は17m程度の幅を予定していますが、詳細は検討中です。</p> <p>③紫のラインの範囲となる。建築はできるが事業時には移転等の協議を個別に行う。</p> <p>④集約の可能性はある。みなし仮設からの移動については、国に要請していく。</p>
総体柔道場	2/17 (金)	54名	<p>①南区、黄金区、西区の浸水地域を町が買いとる予定か。</p> <p>②眺湾荘の辺りで修繕して居住している家は、盛土されると移転対象となるのか。また、桜が丘周辺で土地に家を建ててもよいか。</p> <p>③災害公営住宅は、地区の人たちが一緒に住めるように考慮して欲しい。</p>	<p>①防災集団移転促進事業や区画整理事業で買収の対象となるが、それぞれの土地がどうなるかは今後決定する。</p> <p>②盛土をするかは今後の測量等で決まるが、個別に相談いただきたい。また、建築規制のかからない区域は、通常の建築基準をクリアできれば建築可である。</p> <p>③地域性と公平性に一定程度配慮して進めたい。</p>



女川町復興まちづくり住民説明会 最終報告〔町全体〕 9/9

会場	開催日	参加者	主な質問	町側の回答
総体柔道場	2/18 (土)	51名	<p>①災害公営住宅家賃をできるだけ低く抑えて貰いたい。</p> <p>②清水二区は陽当たりが良い。清水三区のように盛土等を行い、居住できないか。</p> <p>③清水一区の自宅があった場所は瓦礫置き場となっているが、減るどころか増えているのではないか。</p>	<p>①家賃の低減など対応を行う。</p> <p>②そういった要望がどれくらいあるかを受けて全体を決定する。</p> <p>③早くこの状態を解消できるように、色々な所へ協力をもらいながら進めていく。</p>
総体柔道場	2/18 (土)	97名	<p>①駐車場は買い取るのか。</p> <p>②居住開始時期やまちづくり工程の一貫した説明をして欲しい。</p> <p>③町外居住者の高台の土地購入は可能か。</p> <p>④土地所有者が亡くなった場合、名義がそのままでも買い上げてもらえるのか。</p>	<p>①住宅と一体であれば買い取れる。離れた場所や駐車場のみは買い取れない。</p> <p>②できるだけ早く居住できるように進める。現段階でのスケジュール案をお示ししたが、今後詳細の設計に入り決定する。</p> <p>③震災前に居住していた事が条件である。</p> <p>④名義変更後の買上げとなる。</p>